

日時: 5月8日(木) 13:00~17:00 オンライン(Teams)開催 ※メンバー以外の方もご参加いただけます。

申込: IVIメンバーの方(会員ページ) → <https://wm.iv-i.org/wm/wg/events/2866>

IVIメンバー以外の方 → <https://iv-i.org/2025/04/18/solutionseminar2025/>

- 13:00~ オープニング(ソリューションの活用方法)
- 13:05~ IVIコンポーネント紹介 **(各社の発表詳細は2~5ページ参照)**

IVIの業務シナリオWGからの推薦を受けたソリューションや実装会員のソリューション・コンポーネントの一部を紹介します。ソリューションの機能や特徴を、業務シナリオWGでの実績などを踏まえて、特に製造業のユーザー視点で紹介いただきます。本年度の業務シナリオWGで活用を検討のメンバーや自社課題を解決するためにソリューションを探している方はぜひご参加ください。

発表予定企業(順不同): ビジネスエンジニアリング(株)、(株)ケー・ティー・システム、CKD(株)、(株)レイマック、ウルシステムズ(株)、日本ヒューレット・パカード(同)、ダイキン工業(株)、(株)ブロードリーフ、華為技術日本(株)、(株)データ・デザイン、AAC(株)、(株)エーディーエステック、(株)ZIKU

- 16:00~ 本年度業務シナリオWG状況報告・ワイガヤ **(ワイガヤテーマ案は6ページ参照)**

ワイガヤルーム案: 10B04継続WG、10D02継続WG(新規テーマ)、10E01継続WG(新規テーマ)、10E02継続WG、
新規ワイガヤ(各課題や問題意識について、個別ルームに移動しワイガヤ)

※4月25日時点での予定となります。各セッションの開始・終了時間や内容が変更になる場合もございます。予めご了承ください



IVIコンポーネント紹介（1／4ページ目）



ID	発表時間	企業・団体名	製品(ソリューション)名称	簡単な紹介	過去使用WGや備考	製品URL等
1	13:05～13:20	ビジネスエンジニアリング株式会社	調整中	調整中	調整中	調整中
2	13:20～13:35	株式会社ケー・ティー・システム	クラウド型製造実行システム「EXPIO-MES」	昨年紹介した製造工程、生産オーダー、製造指示、進捗管理に加え、新機能をリリースしました。 * IoT化を支援する設備連携サービス(稼働監視と稼働履歴) * 在庫状況を見える化する在庫管理サービス * 簡単システム連携を実現し複数のレガシーシステム情報を統合管理する外部サービス連携機能 今後のリリース予定、カーボンニュートラルに繋がるシステム活用事例を紹介いたします。	ソリューション(実装)会員	
3	13:35～13:50	CKD株式会社 株式会社レイマック	Facilea AI(画像処理AIツール)／IHMA(高輝度透過照明)	昨年度からの継続・進化テーマ。今年度は開口径を極小サイズにチャレンジ。従来の開口径サイズ:Φ30umの処をΦ10um／穴間隔:20um以下の仕様に設定し、加工機の制御パラメータを見極めつつ処理を行った。開口処理した穴が正確に処理されているかを光学顕微鏡にて確認した。次ステップとして実運用では検査工程の自動化を構想し、昨年度に活用している画像処理ツールの進化版:Facilea AIを用いることで設計面での効率化を目指した。	9A01、9B02、9E01、10E01	https://www.ckd.co.jp/software/facileaai/jp/ https://leimac.jp/ihma/
4	13:50～14:05	ウルシステムズ株式会社	ThinkIQを活用した情報の可視化	"ThinkIQは、製造プロセスをデータドリブンで可視化を実現するプラットフォームです。資材・設備などのデータをIoTを通じて収集・統合し、異常検知や不良要因の特定、歩留まり改善に寄与します。従来の勘や経験に頼った現場運営から脱却し、データに基づく継続的な改善を可能にします。	ソリューション(実装)会員	

※4月25日時点での情報です。内容の更新・変更や発表企業が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



IVIコンポーネント紹介 (2 / 4 ページ目)



ID	発表時間	企業・団体名	製品(ソリューション)名称	簡単な紹介	過去使用WGや備考	製品URL等
5	14:05～14:20	日本ヒューレット・パッカード合同会社	HPE 生成AI実装サービス	HPEの「生成AI実装サービス」は、企業の生成AIプロジェクトを計画から導入まで一貫して支援するサービスです。ビジネス目標に最適なAIモデルと技術リソースを選定し、規模に応じたインフラ最適化を行います。テキスト、画像、音声、図面などの多様なデータを取り扱う生成AIにより、製造現場や間接部門において属人化しやすい業務の標準化や自動化、データ活用の推進等で大きな効果を発揮します。	10E01	https://www.hpe.com/jp/ja/services/generative-ai-implementation-service.html
6	14:20～14:35	ダイキン工業株式会社	Raspberry PI PICO を使用した AE センサ取得システム	金属が塑性変形する際に発生する AE(アコースティック・エミッション)信号を安価で取得できる手作りのデータ処理装置の製作方法を紹介します。 100kHzを超える高周波のAE信号をアナログ回路で増幅し、マイコンで10kHzサンプリングの波の強さを表すRMS(二乗平均平方根)値に変換し、USBでパソコンに取り込みます。 プレス加工、切削加工などの状態センシングに使用することを想定しています。	10B01	手作り方法の紹介で当社製品とは全く関係ありません。
休憩(5分)						
7	14:40～14:55	株式会社ブロードリーフ	OTRS10シリーズ	"「OTRS10」は、IEの視点から製造現場の業務プロセスを可視化。豊富な分析機能と現実の動作記録から隠れたボトルネックを明確にし、効率的なオペレーションへと導きます。現場主義を強力にサポートする「OTRS Mobile」は、スピーディなデータ収集とリアルタイムな情報共有を実現。迅速な現状把握と的確な意思決定を可能にします。さらに「OTRS+AI」は、AIが膨大なデータを解析し、熟練者の目にも見えなかった潜在的な課題や改善のヒントを提示。客観的なデータに基づいた、より効果的なカイゼン活動を推進します。世界31か国10,000以上の現場で実績。OTRSシリーズは、御社の持続的な成長と競争力強化に貢献します。"	10C03、ソリューション(実装)会員	https://www.otrs.jp/

※4月25日時点での情報です。内容の更新・変更や発表企業が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



IVIコンポーネント紹介 (3 / 4 ページ目)



ID	発表時間	企業・団体名	製品(ソリューション)名称	簡単な紹介	過去使用WGや備考	製品URL等
8	14:55～15:10	華為技術日本株式会社	SparkLink短距離通信システム	SparkLinkは近距離無線通信の国際標準化を目指す産業アライアンス及び技術標準規格です。Bluetooth、Wi-Fi、NFC及びUWBといった従来の無線技術の持つ優位性を1つの標準規格に集約。コンシューマエレクトロニクスやスマートホームのほか、自動車、スマート工場などの様々な場面のデータを低遅延・高い同期精度・省エネ・高セキュリティや信頼性で収集することは可能です。また、オープンな技術標準、オープンな技術フレームワークによって、CPSエッジプラットフォームに非常に優位性を持つ通信技術であります。 日本では当面、名古屋のAZAPA社が海外SparkLinkモジュール企業と組んで、モビリティ・エネルギー・工場系のソリューション開発を推進しておりますが、将来はチップ・モジュールから社会実装まで、ネイティブな日本製品・ソリューションで強靱なエコシステムを構築すると目指しています。	9E01、10E01と2年間検討、ASG020でも紹介	
9	15:10～15:25	株式会社データ・デザイン	Artec Micro II 、Design X	Artec Micro II はマーカースレスの高精度デスクトップ3Dスキャナです。テーブルに測定物を設置し、ワンクリックで最適なスキャンパスの構築と自動スキャンを行うことが可能です。高精度なデータを必要とする品質検査やリバースエンジニアリングから文化財アーカイブ、歯科や宝飾品まで、幅広いワークに対して最適な3Dスキャンを提供します。 Geomagic DesignXはスキャンデータからパラメトリックな3D-CADデータを作成することができる業界唯一のリバースエンジニアリングソフトウェアです。履歴ベースのCAD機能とスキャンデータの処理機能を組み合わせ、ポリゴン・点群データからフィーチャーベースのソリッド・サーフェースボディを作成することが可能です。	ソリューション(実装)会員	https://www.data-design.co.jp/artec/lineup/artec-micro2/
10	15:25～15:35	AAC株式会社	GPB	生成AIツールです。 社内情報(CLM)を優先し、不足情報はLLM参照で最適回答。 社内情報(機密情報含む)は社内コンピュータ環境に学習させ、技術伝承、技能伝承、アイデア出し、商品開発、社内外の問合せ対応等、業務全般に活用します。 特色はマルチLLM、マルチモーダル、オンプレ可能です。 汎用的な仕組みなので、学習データによって用途が変わります。 この2年間で講演依頼多数、新聞4回、CAM雑誌1回、生成AIの専門書にも掲載。	10C02	http://www.aac-g.co.jp/index-AAC-GenerativeAI-HISTORY.html

※4月25日時点での情報です。内容の更新・変更や発表企業が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



ID	発表時間	企業・団体名	製品（ソリューション）名称	簡単な紹介	過去使用WGや備考	製品URL等
11	15:35～15:45	株式会社エーディーエステック	画像センシング: Teledyne DALSA / FLIR	■Teledyne DALSAは、ハイパフォーマンスなCMOSイメージセンサ、ラインスキャンカメラ、画像処理ボードなどを提供し、産業用検査から医療、ライフサイエンス、航空宇宙に至るまで、幅広い分野で革新的なソリューションを展開する画像センシングのデファクトスタンダード。 ■Teledyne FLIRは、先進的な赤外線およびサーマルイメージング技術をリードする企業であり、赤外線カメラや熱画像センサを中心に、防衛・セキュリティ、産業機器、研究開発、公共安全など、さまざまな分野に向けたソリューションを提供する赤外線センシングのデファクトスタンダード。	様々なWGで紹介・検討	ADSTEC – CCD・CMOSカメラ、エリアカメラ・ラインセンサ等画像機器
12	15:45～15:55	株式会社ジクウ（英語名 ZIKU Inc.）	メタバースイベントプラットフォーム“ZIKU”	ZIKU（ジクウ）は、オンラインBtoBイベントに特化したメタバースプラットフォームです。オンラインでの展示会やショールーム、採用説明会、オープンキャンパスなど、多様なイベントに対応します。ノーコードでメタバース空間を作成することができるため、従来のメタバースプラットフォームに比べ非常に安価でスムーズにイベントを開催でき、来場者の行動履歴などを詳細に分析することも可能です。	9A01、9B02、9E01、10E01	https://ziku.inc/

※4月25日時点での情報です。内容の更新・変更や発表企業が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



【今年度継続WGのワイガヤに参加する場合】 どなたでも参加OKです

ルーム 番号	昨年度 WG番号	今年度のテーマ案(ワイガヤテーマ)
1	10B04	テーマ継続予定、実証場所は検討中 製造・倉庫・運送の企業間情報共有 によるロジスティクス効率化
2	10D02	新規テーマ案①②で検討中 ①人材育成強化のためのローカル生成AI ②生成AIを活用した手順書作成工数ゼロ化
3	10E01	新規テーマ予定 生成AI(RAG)活用した「製造業のリアルメタバース(AIデジタルツイン)とウェルビーイング」が身につくワイガヤ
4	10E02	テーマ継続予定 カーボントレーサビリティ実現と新価値創出の継続

※今年度継続予定WGの中でも今回個別ワイガヤルームを設定しないWGがあります。(昨年度からの継続WGが上記ですべてということではありません)

【新規のワイガヤに参加する場合】 どなたでも参加OKです

ルーム 番号	ワイガヤテーマ
5,6,7...	まずは、大会場に集まっていただき、各課題や問題意識によって、個別ルームに移動しワイガヤを実施

※4月25日時点での情報です。内容が更新・変更になる場合がございます。予めご了承ください。

